

シーズ名	森林昆虫（クスサン）による被害拡大予測に関する基礎研究	分類：10
所属 / 職 / 氏名	農学部共生環境課程 / 講師 / 松木 佐和子	
キーワード	クスサン、ウダイカンバ、昆虫の大発生、北海道、害虫被害	
<div style="border: 1px solid blue; border-radius: 15px; padding: 10px; margin-bottom: 10px;"> <p style="text-align: center; color: blue; font-weight: bold;">どんな技術？</p> </div> <div style="border: 1px solid blue; border-radius: 15px; padding: 10px; margin-bottom: 10px;"> <p style="color: blue; font-weight: bold;">一言アピール</p> <p style="color: blue; font-weight: bold;">昆虫の大発生は、時として森林で起きている様々な異変を伝えてくれる重要なメッセージとして捉える事ができます。</p> <p style="color: blue; font-weight: bold;">大発生が生じてからでは制御が難しい害虫被害ですが、適切な森林管理を行う事で未然に大発生を防ぐ事が大事です。</p> </div> <p>北海道のウダイカンバー斉林で長期間続くクスサン大発生の被害</p> <p>2006年頃から道南や道央で発生したクスサン大発生は、2012年現在、道北や道東にまで被害の範囲を広げています。特に、山火再生林のウダイカンバの一斉林での被害が深刻で、100年生以上にもなるウダイカンバが立ち枯れる被害も出ています。</p> <p>クスサンはウダイカンバとクリを好む</p> <p>野外で食害が観察された様々な落葉広葉樹をクスサン幼虫に与えたところ、ウダイカンバとクリを最も良く選択し、ウダイカンバを摂食した幼虫の成長速度や体サイズは他の樹種に比べて最も大きい事が明らかになりました。また、成虫の段階でも産卵場所としてウダイカンバを好む可能性があることも分かりました。</p> <p>東北地方でもクスサン大発生の発生リスクは高い</p> <p>野外観察やアンケートの結果から、クスサンは北東北の全域に分布し、ウダイカンバがよく見られる標高500m以上にも生息している事が明らかになりました。また、カラマツ人工林の不成績造林地や伐採地には、多くのウダイカンバが侵入していることから、東北地方でもクスサン大発生のリスクは高いと考えています。これまでの知見を活かした森林管理を行うことで、未然に大発生のリスクを取り除く必要があります。</p>		
<div style="border: 1px solid blue; border-radius: 15px; padding: 10px; margin-bottom: 10px;"> <p style="text-align: center; color: blue; font-weight: bold;">何に使えるの？</p> </div> <p>東北圏でもクスサン大発生のリスクがあることがこれまでの調査から明らかになっています。この基礎研究を元に森林管理を行う事によって、未然に森林の害虫被害のリスクを軽減することができると思っています。</p>		
関連特許		
関連資料等		